

ARCUS

Residency for Artists, Experiments for Locals, Moriya, Ibaraki

現在のアート・芸術文化を守谷から。

●問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里2F ※日・月曜日休館)
☎46-2600 (10:00~18:00)

◇アーカスプロジェクトの最新情報は、ウェブや守谷市HPの「楽しむ・学ぶ」から！

- ホームページ
<http://www.arcus-project.com/>
- フェイスブック
<http://www.facebook.com/arcusproject/>
- ツイッター
<http://www.twitter.com/arcusproject/>

◎映像作品のための連続

／断続的ワークシヨップ
大木裕之と過ごす私の守
谷・茨城、日常的妙。
成果発表！

昨年度より継続している、アーティスト／映画監督の大木裕之氏を招いての映像作品制作にまつわるプログラム。守谷市在住の参加者と大木氏がワークシヨップを重ね、守谷周辺地域で映像作品を制作しました。その成果発表として作品を上映します。

▼日時 2月27日(土)午後4時30分～7時▼会場 アーカススタジオ▼入場料 無料
※詳細は公式ホームページをご覧ください



▲活動中の1コマ

●大木裕之

1964年東京都生まれ。国内外の映画祭・展覧会に多数参加。

◎過去招へいアーティスト

の活躍…ドナルド・アバ
ド(2007年招へい)
フランス



▲ドナルド・アバド氏

現在、アバド氏は山口県にある秋吉台国際芸術村のアーティスト・イン・レジデンス サポート・プログラムのTrans.2015-2016に参加しています。3月10日(木)までの滞在期間の終盤には、展覧会も開催されます。

アーカスプロジェクト滞
在時には、市内での活動のみならず、自身が制作した電子機器を身にまとい日本アルプスに登るなど、技術と自然をめぐるコミュニケーションを探求するユニークな映像作品を制作したアバド氏。守谷滞在后、再来日を果たした彼の活動にも注目です。

こころがスゴイ 守谷の教育⑩

道徳の提案授業で「豊かな心」を育む

●問合先 市役所指導室 内線286

市内の小中学校教員で構成される守谷市道徳教育推進委員会。中学校区ごとに豊かな心を育むための提案授業に取り組んでいます。

今年度は、けやき台中

学校区内の3校(けやき台中・松ヶ丘小・高野小)で行われました。まず、各校がそれぞれに同じ道徳の資料を通して「思いやり」の大切さを学びます。自分の考えをハートカードに書き、思いやりの木という大きなボードに貼りつけます。このボードが、各学校へと巡っていくのです。



▲思いやりの木

児童・生徒の考えが咲き誇った思いやりの木は、けやき台中学校に再び戻って

きます。けやき台中学校では、さらに高倉健の著書『アフリカの少年』を資料に用いて、「思いやりとは何か」をテーマに多面的に考える授業を進めました。

授業後、生徒から「最初の授業とは違う視点で思いやりについて考えられた。直接相手のことを支える思いやりもあれば、あえて見守る思いやりもあるのだと思った。それがお互いを大切にするための大切ではないか」「以前自分が書いたハートカードを読むと、新たに気付いたことや成長したことを見ることができて嬉しうい」などの意見や感想が挙げられました。生徒は、今回の提案授業を通して自分の考えを広げていくことを学んだようです。

これからの各中学校区で「考える道徳」「議論する道徳」を充実させていきます。これまでの推進委員会の活動については、市ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。